



静岡家庭医養成プログラム

研修ローテーション概要

外科

一年目

最終更新：2011年3月23日

目的(Goals):

家庭医レジデントが、効率的かつ十分に外科的疾患を持つ患者の診断および治療ができ、専門的治療を要する患者を適切にトリアージできるようになること。診断、適切なトリアージ、外科的治療のリスクとメリットに関するカウンセリング、術前術後のケアに関する研修を重点的に行う。レジデントは、外科的手技の実技能力を伸ばす。

目標(Objectives):

1. 外来および入院に関する外科的評価、リスクと同意に関する説明、術前の評価、手術室の経験、術後の管理に関する外科的経験を積む。
2. 外科的評価・技術の原則を学び、地域医療および他科のローテーションに活かす。
3. 外科的専門技術（血管・内分泌・形成・咽頭・脳外科）に関する知識を高めるため、自己学習・自己評価を行う機会を持つこと。各外科領域において、レジデントは外科的な問題に関して評価・トリアージ・適切な紹介やコンサルトについて学ぶ。
4. 指導医の前で清潔動作・外科的手技・縫合が出来るようになる。
5. ACGMEの規定するPatient Care, System-Based Practice, Medical Knowledge and Professionalismについて知識と技能を伸ばすこと。

方法:

外来診察に参加（週3半日以上の外來診療）

指導医の監督下で単独診療

日常診療

夜間救急診療（救急当直）

定期的な研修医の為のレクチャー又はカンファレンスを設ける（週1半日）

家庭医療科研修：家庭医療科の外來またはグランドラウンドがある場合は、上級医がカバーする。

家庭医療科ローテーション
外科

場所: X市立総合病院 外科

指導教官 (敬称略) : (PHS 番号)

| | | | | |
|------|------|------|------|------|
| 医師 A | 医師 B | 医師 C | 医師 D | 医師 E |
| XXXX | XXXX | XXXX | XXXX | XXXX |

CONTACT PERSON:

スタッフ名

チーフレジデント:

レジデント名

集合日時:

ローテーション開始前、X市立総合病院 Contact Person まで連絡。オリエンテーションの日時を決定。

医局会にて自己紹介し、外科指導医と会う。

当直:

当直日程希望は一か月前までに経営企画室または医局秘書まで連絡すること。HDB 当日は避けること。
また、平日の救急当番が一half日あるので、HDB に重ならない日程に指定すること。

カンファレンス:

| | |
|-----------|---------------------------------|
| 回診 | 毎週火曜日・木曜日 0900-1000 頃より開始 3階東病棟 |
| 外科カンファレンス | 毎週月曜日 08時00分 3階西カンファレンスルーム |
| 乳腺カンファレンス | 第一水曜日 17時30分 2階会議室 |

必要とされる書籍等:

創傷治癒の常識・非常識 夏井睦 三輪書店

ドクター夏井の外傷治療「裏」マニュアル 夏井睦 三輪書店

週間スケジュール

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|-----|--------------------|----------------------------------|---------------------------|-----------------------|----------------------------|-----|
| 朝～ 0800 | OFF | 縫合練習 | 縫合練習 | 病棟回診 ※3 | 病棟回診 ※3 | 縫合練習 病棟回診 ※3 | OFF |
| 0800- 0830 | OFF | 外科カンファレンス | 朝礼 第2会議室 | 抄読会 or PAP smear ※4 | PAP smear ※1 | PAP smear ※1 | OFF |
| 0830- AM | OFF | 処置外来 外科初診 ※2 | 泌尿器外来 外科初診 病棟回診 (1000-) | 処置外来 外科初診 ※2 | 泌尿器外来 外科初診 病棟回診 | 処置外来 外科初診 ※2 | OFF |
| PM | OFF | Y病院 家庭医外来 | 手術 脳外科外来 形成外科 | 手術 救急当番 | Y病院 家庭医外来 | Z診療所家 庭医 Grand Round | OFF |
| 1700-夜 間 | OFF | OFF | OFF | 1730-※5 | OFF | OFF | OFF |

- ※1 必須ではないが、産婦人科の PAP smear（健診センター）などの経験を積むのが望ましい。
- ※2 外科外来では、初診・処置外来などを中心に、外科指導医の観察の下、レジデントが外来を担当する。
- ※3 病棟回診では、自分が外来で関わった患者、自分が手術で担当した患者を担当する。
- ※4 抄読会は隔週。抄読会が無い週は PAP smear の経験を積む。
- ※5 第一週：乳腺カンファレンス 第二週：病理カンファレンス 第三週～：医局カンファレンスなど

※当直は月に2回程度、HDB・GRに重ならないよう、ローテーション開始前に調整すること。
 ※週末、家庭医療科のイベント（WS・セミナー・学会など）がある場合、原則としてそちらを優先する。
 ※自分が外来から入院させた患者・手術に立ち会った患者などは、担当医として受け持つ。主治医には必ず外科の指導医になってもらい、HDB・GR・週末など、家庭医療科の業務時間に遅れないよう、必ず引き継ぎを行う体制を作っておくこと。

月間スケジュール

研修開始前オリエンテーション（ローテーション開始前、Contact Person に連絡して日時設定）

レジデントは到達目標およびパフォーマンス課題の設定を行い、リストアップして指導医に提出する。

指導医はパフォーマンス課題の評価および、研修ポートフォリオの作り方の指導を行う。

※パフォーマンス課題では、最低限、行っておくべき必須事項や、具体的に目標基準となる症例数を出す。

例) 到達目標：外来で遭遇する外傷の外科的評価・管理に関する外科的経験を積む。

パフォーマンス課題：

- ・ 外来で、外傷症例の診断・治療を自分が主治医となって行う。（10件）
- ・ 静脈瘤の凝固療法の見学を見学する。（1件以上）
- ・ 肛門鏡を使った診察を行う。（1件以上、目標5件）

>研修が始まったら、毎日の経験症例ログを付ける。（基本中の基本！）

| | A | B | C | D | E | F | G | |
|----|------|---------|-----|------|------|----------------------------------|-------------------------|-----|
| 1 | Date | Initial | Age | Sex | Dx | 経験した手技など | | |
| 2 | 2011 | | | | 見学のみ | 乳房針生検など | | |
| 3 | 2011 | | | | 見学のみ | 凝固療法・肛門鏡など | | |
| 4 | 2011 | | | 60 | M | Varicose veins, Thrombophlebitis | | |
| 5 | | | | 38 | F | Abdominal pain, post-surgery | | |
| 6 | | | | 19 | F | Cellulitis | | |
| 7 | | | | 31 | F | Vascular spider | 凝固療法(見学のみ) | |
| 8 | | | | 27 | F | Vascular spider | 凝固療法(見学のみ) | |
| 9 | 2011 | | | 56 | M | Leg trauma | | F/U |
| 10 | | | | 32 | M | Appendicitis | | F/U |
| 11 | | | | OyOm | M | Nose trauma | | F/U |
| 12 | | | | 85 | F | Hemorrhoid | 肛門鏡 | |
| 13 | | | | 35 | F | Spleen cyst | | F/U |
| 14 | | | | 1 | F | Head trauma | | F/U |
| 15 | | | | 57 | F | Breast tumor | Needle biopsy | |
| 16 | | | | 74 | F | rectum polyp | 肛門鏡 | |
| 17 | 2011 | | | 46 | F | Concussion | | F/U |
| 18 | | | | 85 | F | Leg trauma | | F/U |
| 19 | | | | 1 | M | Ear trauma | | F/U |
| 20 | | | | 56 | M | Leg trauma | | F/U |
| 21 | | | | 1 | F | Head trauma | | F/U |
| 22 | | | | 2 | M | Hand trauma | | F/U |
| 23 | | | | 45 | F | Breast tumor | Breast exam | |
| 24 | | | | 42 | M | Head trauma | | F/U |
| 25 | | | | 19 | M | Finger injury | Compression, Anesthesia | New |

中間報告

研修が半分終了したところで、レジデントは自分の所属するサイトの家庭医指導医および外科指導医に、現在の自分の到達目標達成度を報告する。指導医は状況に応じて、目標達成のための研修環境のサポートや、目標の修正などを行う。

研修振り返り・最終報告

研修最終日（またはその前後）半日を使い、自分の研修目標の到達度確認および研修振り返りを行う。レジデントは自分の到達目標・パフォーマンス課題・毎日のログを準備し、指導医に達成状況を報告する。指導医は、それらを受けてレジデントの評価を行い、研修に関するフィードバック（良かった点・改善点の議論）を行うこと。